

〔代表者〕 理学部 4年 井坂 勇方

連携先

○傘設置協力店舗

しのはら生花店、ビストロ・BaBa、スリースター薬局、高橋パン店、れんが屋、洋装店 ルミエール、助川接骨院、tsuki HaNa、中華料理・居酒屋 菜花、Coo-Kai Hair、ぱん屋 Crouite、かわまた楽器店、タドコロ洋品店、石和鮨、プレイステージ WIN、銀杏塔里、みなみ食堂、KOYAMAスポーツ、花きゃべつ、フジカメラ、平本花園、フルーツ銚子屋、麵亭、愛恩幼稚園、あじ平、炭火焼肉 こり家、jamboree、カラス、清晃堂 細谷薬局

○催事連携先

■イベント名：夏至・冬至100万人のキャンドルナイト

社団法人水戸青年会議所

テラスザガーデン水戸

◆ボランティア協力団体

みと青年会

みと高校生会

ひたちなか高校生会

Smile

常磐大学 TUVIX

常磐大学 VOX

Happy Project

城里町ふれあいの里天文同好会

茨城大学 Impressive Voice

茨城大学 Gittare!!

UC

茨城高専ボランティア部

◆協力者所属校

茨城大学・常磐大学・勝田高校・水城高校・水戸農業高校・水戸桜ノ牧高校・大成女子高校・茨城工業高等専門学校・東海高校・水戸第二高校・水戸第一高校・水戸工業高校
水戸南高校・水戸市立第一中学校
ボランティアスタッフ数合計 84 名

■イベント名：梅祭り、夜梅祭り

社団法人水戸青年会議所・水戸観光協会・水戸市植物公園・水戸市農業公社

参加者

井坂 勇方 (理学部 理学科 生物科学コース 4年)

宮道 光平 (理学部 理学科 地球環境科学コース 2年)

丸山 慶子 (人文学部 社会科学科 2年)

及川 恵理 (")

早川 美穂 (")

堀江 真由美 (人文学部 社会科学科 3年)

豊田 優介 (大学院理工学研究科 自然機能科学専攻 2年)

落合 勇太 (大学院理工学研究科 自然機能科学専攻 3年)

小寺 章司 (理学部 理学科化学コース・2年)

平塚 直美 (人文学部 社会科学科 2年)

古川 ようへい (理学部 理学科 地球環境科学コース 2年)

安島 崇 (常磐大学 4年)
松井 辰弥 (常磐大学 4年)
菊地 涼 (常磐大学 4年)
津田 仁美 (常磐大学 2年)
末 真寿 (常磐大学 1年)
二重 作香奈 (常磐大学 1年)
須賀野 あゆみ (高校生)
石澤 美由紀 (社会人)
岩崎 祥英 (社会人)
須藤 陽介 (社会人)
菅野 雄也 (社会人)
佐川 雄太 (社会人)
1日協力スタッフ
渉外・広報活動 1日スタッフ 他67名

プロジェクトの実施概要

TOKI 和傘とは？

まだまだ使えるのに放置されたり忘れ物にされて処分されてしまう
そんなビニール傘たちを回収し、ちょっとオシャレにデザインして
再び水戸の街に無料リユース傘として貸し出すプロジェクトです。

TOKI 和傘はTOKI 和傘提携店のカフェや本屋さんに置いてもらう予定で誰でも気軽にしかも無料で借りることができ、
いきなり雨が降って困った際に手軽に使うことができます！
そしてもし雨がやんだら提携店に返してくればOKです。

そしてそのTOKI 和傘を提携店に返すことによって（返却は提携店全店で可能）

さらに、水戸周辺で使えるクーポン券をプレゼントします。
(スポンサーがついた際に実施予定)

このクーポン券はボランティアや寄付など社会貢献をした方にプレゼントされるものです。

ということは、TOKI 和傘を提携店に返すことによって

リユースという社会貢献をしているということなんですね。

本来なら捨てられるはずだったビニール傘たち。

そんな傘たちを水戸にいるみんなでもう一度、大切に使いつづけることによってごみ問題をひとつ解決し
みんなで同じものを共有するという意識を高める。

もしかしたら今手にしているTOKI 和傘の前の持ち主や次の持ち主が 大好きな人だったり、友達だったり、憧れの人だったりするかもしれません。

雨が降ったら使って、設置店舗に返してクーポン券をもらう。

そうしてみんなで、水戸をちょっとイイ街に・・・。

◆ TOKI 和傘 とは一言でいうと何なのか？

傘のリサイクルを行う ECO プロジェクト

傘のリユースを行う 地域活性化
プロジェクト

◆ TOKI 和傘の名前の由来

水ミ 茨イバ 常トキ
戸ト 城ラキ 磐ワ
駅↓大 ↓大↓
TO KI WA KA SA

T → Train (電車)

okiwa → okiwasure(置き忘れ)

TOKIWAKASA → トレイン置き忘
れ傘

常磐の本来の意味

常磐とは トコイワの約である。

トコイワは常に変わらない岩。

永久不変なこと。

引用：広辞苑より

このことから TOKI 和傘とい
うプロジェクトが地域に根差し
永く続くものになることを祈っ
てこの名前を選びました。

方法と手順

①ビニール傘の回収

Q: 雨の日に電車の中に置忘れら
れたそれはどうなるのか?

A: 駅では置き忘れ傘が大量で保
管しきれないので、普通の傘は数
ヶ月保管されるが、ビニール傘は
まとめて廃棄されている。

その傘をリユース傘として回収
してきます。

②ビニール傘にデザインを施す

Q: 傘を水戸にいるみんなに、も
う一度、大切に使い続けてもら
うには?

A: みんなにすすんで使ってもら
うため、ステキなデザインを施す
。

茨城県の美術系の学生, 美術
に携わる社会人の方々と協力し,
デザインを施します。

③身近な場所に貸出ポイントを設置
する

傘をどこのポイントでも貸し借
りが可能にします。

傘の貸出ポイントには緑の傘立
てを設置します(傘立て+プラン
ター)

傘の貸出ポイントであると同
時に緑で街中の景観を美しくしま
す。

晴れの日には街中を緑で飾り, 景
観を美しくします。

雨の日には街中の傘貸出ポイン
トとして, 道行く人の役に立ちま
す。

④身近な場所に傘を貸し出す

Q: 夏の夕立、突然の雨の時、み
んなが手軽に雨傘を使えるには
どうしたらいいのか?

A: 駅、大学、商店街、駐車場か
ら施設建物まで距離が遠い・屋根
がない場所などに、傘のリユース
ポイントを設置します。

最初は水戸駅、茨城大学・常磐大学には貸出と回収箱を設置する予定です

⑤TOKI 和傘 学園祭編

せっかくの学園祭、多くの人に来てもらいたい、そこでビニール傘に学園祭のPRをプリントし看板として街中で使ってもらいます！

茨城大学の茨苑祭で、雨が降りだしてしまったら、会場に来ているお客さんに、傘を貸し出します。

・リユース容器導入に向けて

TOKI 和傘のようなリユース傘は雨天時でしか使えず、環境を考えたリユースの理念を広めるには今ひとつと成りかねません。そこで、少しでも多くの人にリユースの考えを広めるためにも、水戸地域の拠点である茨城大学の茨苑祭でのリユース容器の導入をすすめ、リユースの大切さを多くの方々に理解してもらい、我々としても茨苑祭における経験を生かして町内会のお祭りや運動会におけるリユース容器導入をすすめて行こうと思います。

⑥TOKI 和傘 梅祭り編

イベント中に、雨が降りだしてしまったら、会場に来ているお客さんに、傘を貸し出します。

雨の日は梅の香りも薄れてしまいます。

せっかく、水戸の梅を見るために足を運んでくれたそんな観光客の皆さんに、ちょっとした恩返し。特別な傘を貸し出します

・梅ポプリ付き傘とは？

梅の香りの香水をポプリに吹き付けて、傘の内側に吊るします。傘を開くと、満開の梅の香りが広がります。香水は、クリエイティブ三愛さんが水戸の梅から作ったもの（偕楽園で販売）を使います。使用するポプリは社会福祉法人ひだまり会障害者作業所ゆきわり荘で作ったものです。現在、200個のポプリがあります

・TOKI 和傘プロジェクトにおける香料の自主栽培について

今年の梅祭りで使用した傘の内側につける香りつきポプリ（水戸の梅から作った香水を使用）の評判がよく、嗅覚を刺激することで雨の不快感を少しでも和らげる効果があるようでした。

TOKI 和傘が茨城大学発信のものであるとより印象付けるためにも、また地域参画プロジェクトとしては茨城県産による地産地消を目指すべきと考え、ならばいっそのこと大学でよりリラクゼーション効果の期待できるハーブなどを栽培し、茨城大学産の香料の使用を目指します。

⑦リサイクルまでの流れ

昨年度は某交通機関の協力により、600本の置き忘れ傘を回

収しリユースする流れができました。

また、今年度からは金属リサイクル業の有限会社富蔵商店製鋼原料部スターメタルさんに壊れた傘のリサイクルに協力していただけることになりました。

◆ 連携の方法

連携先：水戸駅前の商店街

方法：夏の夕立，突然の雨の時に，無料のリユース傘があったとしたら，雨の中を歩いてショッピングが楽しめると思いませんか？
水戸駅を始め，駅前の商店街を中心に緑の傘立てを配置してもらいます。

晴れの日には街中を緑で飾り，景観を美しくします。

雨の日には街中の傘貸出ポイントとして，道行く人の役に立ちます。

それだけでちょっとした地域活性化と経済効果も望めるかもしれません。

連携先：水戸駅・茨城大学・常盤大学

方法：水戸で始まる TOKI 和傘の最初の設置場所，社会を変えていくなら大学から！

地域に根差した大学ということで，この三か所を初めの拠点として，活動を開始します。

連携先：鉄道会社・バス会社

方法：電車やバスに乗れば無料でカサが貸してもらえたら，雨の日の行動も少し楽になるかも？

それで少しでも地域のバスを使ってくれる人が増えたら嬉しいことですよね。

TOKI 和傘の元となる傘は電車やバスでの置き忘れ傘をリサイクルします。

連携先：学園祭，夜梅祭り，梅祭り，あじさい祭り，等各種イベント

方法：イベントの最中の突然の雨，そんな時に無料で借りられる傘があれば駅まで濡れずに帰れます。

連携先：地球

方法：ビニール傘の無駄な消費を抑えられます。それは原材料である石油やボーキサイト等の価格変動が激しい鉱物資源の消費を抑えることにつながる。

これって，地球に優しいECOですよ！！

◆ 計画

月	内容
6月	紫陽花祭り，夏至のキャンドルナイトにて傘の貸出
7月	スタッフ・提携店・スポンサー募集
8月	物品購入開始，植物の植え付け，傘の貸出ポイント設置，スタッフ・提携店・スポンサー募集
9月	植物の栽培，傘の飾り付け，傘の貸出ポイント設置
10月	傘の試験導入開始（10/4～），常盤大学学園祭にて傘の貸出
11月	傘の試験導入終了（～11/21），茨苑祭にて傘の貸出
12月	冬至のキャンドルナイトにて傘の貸出
1月	梅まつりに向けて準備
2月	梅まつりにて貸出
3月	梅まつり・夜梅まつりにて貸出

◆ 参加イベント情報

日時：10月17・18日

場所：常盤大学

イベント名：常盤大学 学園祭

内容：それぞれの学園祭に多くの方々が足を運んでもらうべく，傘に学園祭のPR・宣伝をプリントして・歩く広報媒体としての役目を果たします。

活動内容の展示ブースを設けます。

雨が降った時は傘の貸し出しを行います。

日時：11月14・15日

場所：茨城大学

イベント名：茨苑祭

内容：それぞれの学園祭に多くの方々が足を運んでもらうべく，傘に学園祭のPR・宣伝をプリントして・歩く広報媒体としての役目を果たします。

活動内容の展示ブースを設けます。

雨が降った時は傘の貸し出しを行います。

日時：6月21日，12月21日

場所：水戸芸術館，水戸駅

イベント名：キャンドルナイト

内容：キャンドルを中心に周りにデザインを施したビニール傘を配置。ロウソクの光に透かされたビニール傘が，スタンドグラスのように夜景を美しく彩ります。

雪や雨の時は，キャンドルに雨がかぶらないように，そして会場のお客さんが濡れないように，傘の役目をはたします。

日時：2月～3月（春休みの期間）

場所：偕楽園と水戸駅

イベント名：偕楽園 梅まつり・夜梅まつり

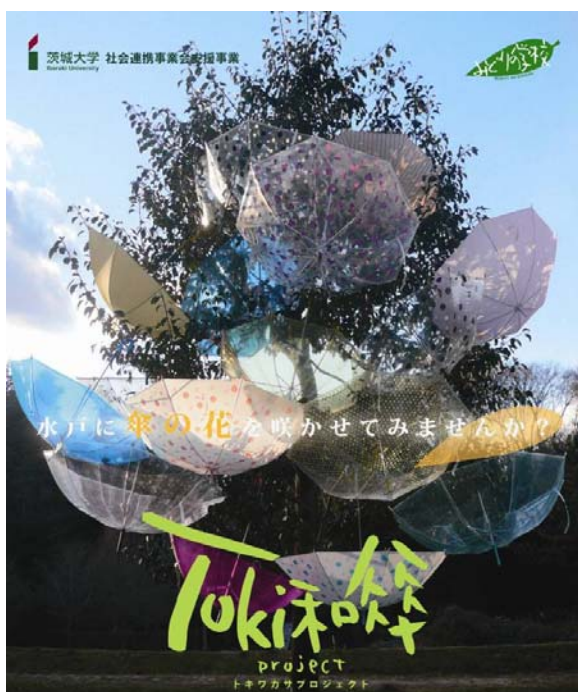
内容：雨の中，水戸の梅を見るために足を運んでくれた観光客の皆さんに，ちょっとした恩返し。雨の日はせっかくの梅の香りも

薄れてしまいます。その助けになるのが TOKI 和傘、梅の香りを吹き付けたポプリを傘にぶら下げ、雨の中でも借楽園の満開の梅と香りを楽しんでもらえます。

プロジェクトの成果報告

● プロジェクトの経過

7月：ポスター、チラシ、ホームページの作成を行う



エコから始める 傘無料レンタル実施中!
まちおこし。

プロジェクトに参加してくれる方を募集しています。
何かせたいと思ったあなた、まずはアクセス！
http://miki.usa-pyoki.net/tokiwakasa.html
mail: tokiwakasa@gmail.com

8月：泉町に傘設置の店舗を探すため、渉外活動を行う

9月：南町・宮町に傘設置の店舗を探すため、渉外活動を行う

10月：ポスター及び傘を協力店舗に設置する

11月：

1日から TOKI 和傘の街中運用を始める
21日傘の運用状況の確認のため協力店舗1度目の巡回する

12月：

6日傘の運用状況の確認のため協力店舗2度目の巡回する
20日 Toki 和傘を始め ECO 活動のキャンペーンを行う
26・27日に運用を一時終了、アンケートに協力してもらう

● 傘の設置協力店舗について

設置店舗は以下の三つの条件のいずれかに当てはまる店舗を対象に協力を依頼しました

1. 長時間人が滞在する可能性の高い店舗（飲食店、理髪店）
2. バス停付近の店舗
3. 高齢者が使う可能性が高い場所（薬局、食料品販売店）

泉町周辺に14店舗

南町周辺に10店舗

宮町周辺に5店舗

合計29店舗

各店舗5本ずつ設置

合計145本

● 貸出期間中の天候概況

貸出期間 11月20日～12月20日

6時～18時の雨の回数

降雨回数 14回

一時雨の回数 10回（降雨回数 14回）

中)

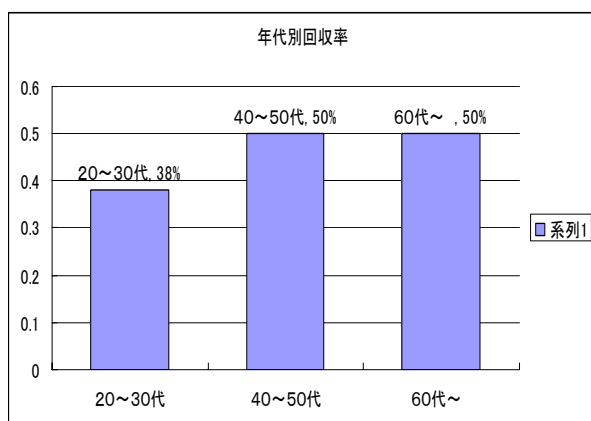
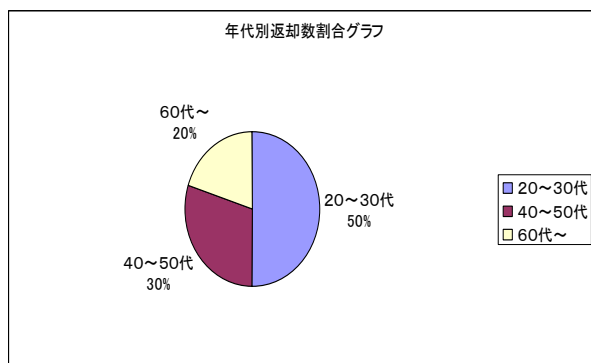
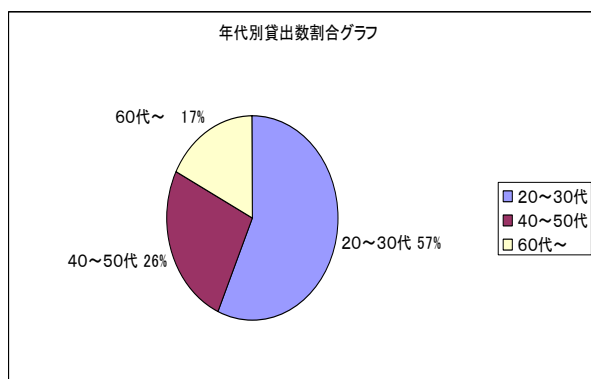
● 傘の使用回数と回収率

総貸出本数 51 本

総回収本数 19 本

回収率 37%

(東京都渋谷区で実施されている同様のプロジェクトの回収率は1割です)



● アンケート・聞き込み調査の結果

■ 傘の貸出における問題点・改善点

- ・ 年配のお客様が多く、たいていの方が折り畳み傘などを持っているので、なかなか使われませんね(60代女性タトコロ洋品店様)
- ・ 駅前のお店に置き忘れの傘がいくらかもあるよ!みんな忘れていくからね。傘はいらないから、タグだけつけて、うちの傘を使ってよ(50代男性あじ平様)
- ・ 若い人に貸すとやはり返ってきませんね、高校生のマナーアップが必要だと思うので高等学校とタイアップしてみては?(40代女性銀杏通里様)
- ・ 傘に張られたキャラクターが可愛すぎて、若い人が持つにはいいけど、年配の方だと持つのが恥ずかしいね。(60代男性 みなみ食堂様)
- ・ お店にある傘たてにはお客さんが基本傘をいれるからね、傘たてが別にあるといいね(30代男性こり家様)
- ・ いきなり雨が降ってきた時なんか、店の前を歩いているお客さんに貸してあげたいんだけど、なかなかうちみたいな理髪店に入ってきて傘を借りていく人はいないんだ。傘たてなどを用意してもらえれば、店頭の扉のところに置いて、一声かけるだけで借りて

けるようにできるから、もっと使ってもらえるようになるよね。

(30代男性 Coo-kai)

- うちのお店柄、なかなか返しに来る人は少ないですね。(30代男性 プレイステージウィン)
- エコな活動しているんだから、シールやタグなんか使わないで、もっと単純にマークをつけられる方法を考えたらどう？(30代男性 ジャンボリー)
- ポスターをもっと目立たせて、歩く人にアピールできたら借りていく人も増えるよ。あと水戸駅に返却場所がほしいね～(60代男性 フジカメラ)
- 傘を借りる方に借りた日付を書いてもらい、返しに着たら返却日を書いてもらうのはどう？借りた日付をかくことで、より返さないといけないという気持ちになるかも(50代女性 しのはら生花店)

■店舗様・お客様からの賛同のご意見

- 保守的だから新しいことに手を出さない人が多いけど応援しますから、頑張ってくださいね(50代女性)
- 水戸でこんなことやってるの！？すごいね！(10代女性)
- レンタル傘だ～！(10代男性)
- なんだろう？っと、シールとタグがついている傘があるので興味をひかれているひとがいたよ

(30代女性 あじ平)

- 地域のサラリーマン等が、ランチタイムに借りていって、次の日に返してくれる。お店の集客にもつながっています(40代女性 銀杏通里様)
- 12月の茨城放送でうちが取材されたから、そのときにToki 和傘のことを話しておいたよ！がんばんな！(50代男性 石和鮎様)
- とても助かります(60代女性 高橋パン店様)
- 今まで自前でお店の傘を貸していたけど、このプロジェクトの傘を貸し出すようになって少しく返ってくるようになりました。あとお客様から使わなくなった傘を預かったので、役立ててください。(50代女性 しのはら生花店様)
- 私のところは高齢の方が多いので、とっさの雨の時にはとても助かります。ほとんどが地元の方なのでよく返却してくれますよ。

(50代男性 スリースター薬局様)

● まとめ

前年度に比べ、今年度は当初の目標であった街中における貸出を実現することができた。

だが、現状の29店舗では、まだまだ傘設置場所が少なく、手軽にどこでもリユースできるという状態まではいってない。理想としては各バス停周辺に2店舗ずつあれば、

よりリユース率も上がってくるだろう。

今年の11月12月は例年と比べ雨の回数は多かったが、梅雨の時期と比べると格段に少ない。来年の梅雨に向けてのテストとして、この時期に実施したが予想以上に傘の減少が早いことがわかった。11月中に大雨が降った日が1日だけあったが、その日に全て傘がなくなった店舗も多かった。雨の直後に追加して傘を配って歩くことは非常に手間である。このプロジェクトが本当に役立つのは梅雨の時期である。その時期に向けて、1日の貸出本数を制限するなり対策を練る必要があるだろう。

グラフを見るとわかるが、年代別の貸出本数は20~30代の方が多いのに対し、回収率は40代以降の方のほうが多くなっている。悲しいことであるが、若者の方が物を返すという基本的なことができていないようである。特にそれが顕著だったのがゲームセンターである。5本中5本とも傘が無くなってしまい、明らかに若者のマナーが低下していることを示している。こういった問題に対し、まずは駅周辺の高校とタイアップすることでモデルを作り上げ、そこを広告塔にマナーアップを図るべきだろう。

店舗様やお客様の話を聞くと、まだまだ改善点が多いことがよくわかります。シールの件はコストが高かったこともあり、今年は名詞サイズのチラシをラミネート加工したタグを使用するように変えたり、傘たてについてはぎりぎりまで購入するかどうか迷ったり、その結果、上のような意見が出てきたということもありました。どの意

見にも一理あるので、これからプロジェクトを進めていくうえで、うまくバランスをとりながら取捨選択していく必要があると感じています。

最後になりましたが、2年間地域参画プロジェクトに関わってきて肌で感じたことは、所詮私たちは学生で井の中の蛙であるということです。今、地域で何が問題になっていて、どんなニーズがあって、学生は何を求められているか、ということは現場に行くまでさっぱりわかりませんでした。ただ地域に出て、多くの方々と話すことで、その足がかりが見えてきたのも事実です。今回のプロジェクトを通して新たなニーズの発見もでき、今後はそういったニーズにもこたえていければと考えています。

今回のToki和傘には大学関係者を始め、地域の大人や中高生まで数百人の規模でご協力を頂きました。このような結果が出せたことは多くの方々のご支援があったおかげで、たどり着けたのだと確信しております。言葉では言い表せない程、心から感謝しています。本当にありがとうございました。